

1 学校教育目標

(1) 本校の教育目標

自主的な態度に満ち、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな国民として、未来を創造する、たくましい子の育成をめざす。

- 「強く」…健康で安全に気をつけ、ねばり強く、がんばり抜く子
- 「やさしく」…責任感をもち、礼節をわきまえ、思いやりに満ちた心豊かな子
- 「進んで学ぶ」…向上心にもえ、よく考え、自ら進んで学びとる子

(2) 経営方針

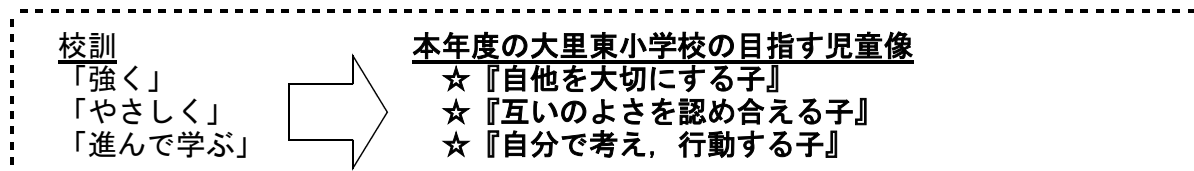
ア 生きる力を構成する「感動する心や自ら律しつつ他人を思いやる心」「よりよく問題を解決する資質や能力」「たくましく生きるための健康・体力」を育む。

イ 全職員が、それぞれの個性や創意を生かして学校経営に参画し、家庭や地域社会との連携を密にして、特色ある教育活動を展開し、魅力的で信頼される学校づくりを進める。

ウ 職員は、専門職としての使命と責任を自覚し、常に研修に努め、指導技術を磨くとともに教育への見識を高める。

(3) 本年度の重点努力目標

ア 本年度の大里東小学校の目指す児童像



イ 目指す児童像にせまる指導の手立て

★『自他を大切にする子』

(ア) 児童と教師、児童相互間の温かな心の交流を醸成し、自他の命の尊厳について考えを深めたり、「生きるよろこび」を体感したりできるような豊かな学びの実現に努める。

(イ) 自己をみつめ、物事を多面的・多角的に考えるとともに、自己の生き方についての考えを深めるような道徳科の時間を展開する。また、道徳科の時間を要として、教育活動全体を通じて道徳教育を充実させ、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度の育成に努める。

(ウ) 健康教育の充実、食育の推進、体育的行事を通して、粘り強くたくましい心と体をもち、自ら進んで健康の保持増進に励む児童の育成に努める。

(エ) 児童および教職員の危機管理意識の高揚を図り、「自分の命は自分で守る」ための迅速かつ確かな判断・対応ができる能力や態度の育成に努める。また、保護者や地域との連携を図り、登下校時の安全確保や交通安全・災害安全等に努める。

★『互いのよさを認め合える子』

(ア) 児童相互に人格・個性を認め合ったり、高め合ったりできるような、望ましい集団活動を体験させる。

(イ) 学校生活において、児童が自らの特性を発揮し、集団に貢献できる場を積極的に設定し、達成感・充実感と自己肯定感が実感できるような場を創造する。

(ウ) 集団生活における諸問題に対しては、好ましい人間関係の構築を支援することで未然防止に努めるとともに、児童の心に寄り添った丁寧な対応を心がける。

(エ) 家庭や地域社会と連携した体験を通して、地域の一員としての社会性の育成を図る。

★『自分で考え、行動する子』

(ア) 体験的・問題解決的な学習を積極的に取り入れ、「思考」「判断」「表現」する活動の充実を図ることにより、深い学びの実現を図る。

(イ) 児童の学習意欲を刺激する課題設定や、具体的で分かりやすい学習目標を提示することにより、主体的な学びの実現にせまる授業の展開を図る。

(ウ) 英語教育においては、学年及び単元ごとの到達目標を明確にし、知識・技能の定着を図るとともに、目的や場面を意識しながら、主体的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する授業を展開する。

(エ) タブレット端末を始めとするICT環境を活用し、個に応じた指導をより充実させることによって、主体的・対話的で深い学びの実現に努める。

ウ その他

教職員一人一人の心身の充実が教育活動の充実に直結することを自覚し、職員それぞれにより良いワーク・ライフ・バランスが確立されるよう指導環境の整備に努める。